

Seki Bridge Journal 創刊号

令和3年4月4日

岐阜県立関高等学校

今回は、探究活動広報誌 Seki Bridge Journal 発刊のお知らせです。

◇ 関高校は、文科省SGHネットワーク参加校、岐阜県FRH指定校です！

<SGH事業とSGH情報>

2014年度、岐阜県SGH事業の開始とともに「関高SGH情報」が創刊されました。県SGH指定終了時の2020年3月まで、通巻369号・号外41号を発刊し、6年間、SGH事業の紹介に努めました。2015年度には、文科省SGHアソシエイトの指定を受けています(2020年度まで)。



文科省SGH ロゴマーク

<FRH事業とFRH情報>

2020年度、県より新たにFRH指定を受け、「関高FRH情報」と改称し、この1年間で通巻96号・号外14号を発刊しています。SGHの名称がすっかり定着した中で、あらたに始まったFRH(地域共創フラッグシップハイスクール)事業の周知に努めました。

<SGHネットワーク校>

FRH活動2年目を迎える2021年度、本校は文科省より、SGHネットワーク参加校に認定されることになりました。もちろん、文科省SGHアソシエイト、岐阜県SGH指定校としての活動実績が認められてのことであり、「SGHの成果普及と、持続可能なグローバル人材育成の推進」がその使命です。

<Seki Bridge Journal>

関高校は、地域とともに課題解決に取り組むFRH校指定であると同時に、グローバル人材育成をめざすSGHネットワーク参加校でもあります。

今後も、地域と世界、過去と未来の「架け橋」となる若者の育成・支援に努めます。その思いを込めて、広報誌をSeki Bridge Journalと改称しました。探究活動を軸に、関高生の日常をお伝えします(関高公式ホームページ・フェイスブックに掲載)。

◇ 新時代の教育のキーワード、探究活動とはなにか

探究活動とは、学び手である生徒自身が課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析し、周囲の人と意見交換・協働しながら進めていく学習活動のことです。探究学習では、生徒の思考力や判断力、表現力などの育成を目的としています。高校では「総合的な探究の時間」などの科目において、探究学習を導入した授業が行われています。

関高校では、1・2年生全員が、週1回の「総合的な探究の時間」を利用して、探究活動を実践します。さらに、校内のすべての授業で、探究的な学びを取り入れ、学習活動を推進しています。

探究活動で発揮される「課題発見・解決力」や「表現力」「コミュニケーション力」は、日々の授業で培われ、「総合的な探究の時間」に発揮されるというのが関高校での学びの基本的なカタチです。



世界遺産白川郷フィールドワーク